

Tobe Zoological Park of Ehime Pref.

tni zoo

2022

Vol-34

No.1



目次

園長あいさつ.....	3
ZOOダイアリーグラフ	4
動物病院から	6
Keeper's Note.....	7
動物園再発見.....	8
とべとべCOMIC.....	10
飼育レポート①.....	12
飼育レポート②.....	14
職員紹介.....	16
読者投稿用紙.....	17
どうぶつなぞなぞクイズ.....	19

—表紙説明—

■アメリカバク

学名：*Tapirus terrestris*

英名：South American (Brazilian) Tapir

南アメリカに分布し、水辺の近くや草原に生息する動物で、体長は 180cm～250cm、体重は 200kg～300kg ほどです。数ある有蹄類の中で最も原始的な動物だと言われており、ずいぶん昔からその姿はほとんど変化していません。特徴は、少し長い鼻です。この鼻は、ゾウの鼻と同様に上唇とくっついた構造なので、自由に動かすことができます。エサを食べるときや、安全なものであるか確認するときなど様々な場面で使われています。

実際に鼻をどのように使いながら暮らしているのか、じっくり観察してみるとおもしろい発見があるかもしれません。ぜひ、アメリカストリートにいるアメリカバクに会いに来てください。

(写真：池田 智亮・文：村上 ひなの)

「愛媛動物友の会」令和4年度のスタートを迎えて

愛媛県立とべ動物園園長

前田 洋一



みなさんこんにちは！

令和4年度の始まりは、新型コロナウイルス感染症対策による行動制限がない春となりました。3年ぶりに開園することが出来た大型連休中には46,901名もの来園がありました。昨年は中止せざるを得なかった4月例会には61名の会員のみなさんの参加をいただいております。また23日にはカバの「まんぷく」1歳の誕生会を盛大に開催いたしました。誕生会は新たな試みとしてYouTubeでの生配信も行い、多くの御祝いメッセージと寄付金をいただいております。たくさんのご参加、ご協力に心より感謝申し上げます。

このような人の動きと共にいよいよウイズコロナ・アフターコロナを見据えた事業の継続、取り組みの必要性を感じております。その一環として、入園、退園者を入り口センサーで検知して園内の滞在人数を把握できるシステムや部分的な混雑の様子を把握するためのカメラを13か所に設置いたしました。これらを活用しながら動物園の感染症対策を進めてまいります。一方で愛媛県の感染者数は高止まりで、完全な収束にはまだまだ時間がかかるようです。皆様には、これまで同様に基本的な感染症対策をお願いすることになりますが、引き続きご協力をお願いいたします。

昨年秋に2頭が巣立ったライオン舎では、5月5日に赤ちゃんが誕生し、元気に成長しています。さらに、8月にはキリンの赤ちゃんの誕生を予定しています。無事に出産が行われるようにハズバンダリートレーニングを継続して、エコー検診などで母親の「杏子」の体調をモニタリングしています。また懸案であったサル舎・ヒヒ舎の改修計画も進めております。すべての動物たちの生活の質を向上させるため、動物福祉に配慮した飼育施設の充実と飼育管理方法を考えてまいります。

例会につきましては、指導部が考え抜いたメニューをご用意しております。松野町の虹の森公園おさかな館での見学会も予定しておりますので、多くの参加をお待ちしております。今年度もこれまで以上にとべ動物園、愛媛動物友の会をご支援いただきますようお願いいたします。

最後になりましたが、あまたの生き物が暮らしているこの地球上でいかなる戦争や紛争もなくなることを強く願っております。

愛媛動物友の会 シンボルマーク

<シンボルマークの説明>

愛媛県は、海と緑の豊かな自然に囲まれた土地です。

このようなすばらしい環境に住む我々県民は、愛媛の自然や文化はもとより、歴史や伝統、産業などの優れた資産をしっかりと継承し、「共に創ろう 誇れる愛媛」を基本理念として更に発展させ、次の世代へと引き渡していくべきだろうと思っています。

動物園は、動物を介し、情操豊かな地方文化の発展に少しでも貢献できることを願い、愛媛県の地図をマークとしてデザインしました。

アフリカゾウをモチーフに使ったのは、愛媛県に初めての御目見えであり、キリンやライオンと並び、小さなお子さんから大人の方までとても親しまれている人気動物だからです。

このマークが多くの人々に愛され、県民の方々はもちろん、県外からも数多くの動物愛好家が集まって動物と人、人と人の輪が大きく広がる事を願っています。

(デザイン：とべ動物園 椎名 修)



ZOOダイアリーグラフ

2022.2.1～2022.4.30



～2月23日 ねこ歩き～



2022年2月22日は、例年以上に2が重なることから「スーパー猫の日」だとか🐱見事当選された22名のお客様とネコ科動物限定ツアーに出発しました♪エサやり体験では迫力のある動物の姿が見られましたね！

～2月19、20、26、27日 雪まつり～



氷の彫刻ショーやホッキョクグマへの雪のプレゼントが開催されました🌨️氷の塊が動物の形へと姿を変えていく瞬間は思わず見入ってしまうほど素敵でしたね★雪をもらったバリーバも嬉しそうでした♪

～3月5日 サイチョウキャンペーン～



3月1日は「サイチョウの日」です！南米獣舎にてオオサイチョウのガイドをしました♪初めて触れる羽の感触はどうだったでしょうか(*~*)この機会にサイチョウや東南アジアの自然について知ってもらえたら嬉しいです！

～4月23日 まんぷく誕生会～



誕生以来絶大な人気をほこるカバの「まんぷく」くんが1歳になりました！誕生会には、たくさんのお客様がお祝いに駆けつけてくださいました♪誕生記念グッズも好評でした！これからも応援よろしくお願いします！

【毎月のガイド】

- ・毎日「ペンギンのお食事タイム」
- ・毎日曜日「ZOO タイム 1130」
- ・毎土・日曜日・祝日「ヒポヒポランチ」(有料)
- ・第3火曜日「園内まったりお散歩」
- ・毎土・日曜日・祝日「ゾウ様のランチ」(有料)
- ・第2土曜日・第4日曜日
- ・毎日曜日「キリンの瞳に大接近」(有料)
- 「ボランティアガイド」

*有料ガイドのチケット販売は管理事務所でを行っています。

*感染拡大予防のため中止することがあります。詳しくは当園HPをご覧ください。

A group of goats are gathered around a large yellow tray filled with green grass, yellow flowers, and orange star-shaped treats. One goat is visible on the left, another in the center, and a third on the right. A person's hand is visible holding the tray.



Happy Birthday



コロンビアクロクモザルのクロちゃん、3月26日に39歳の誕生日を迎えました！こちら職員特製のフルーツ盛りをもらって美味しそうにほおばっていました(^♪これから元気で長生きしてね！

2月23日 モルモット(♂1.♀3)
3月29日 アカカンガルー(♂1)

元気に大きく
育ってね♪

きなこお母さんが4頭の赤ちゃんを無事に産んでくれました！
一番小さい仔は 51 g でしたが、もりもり食べてみんな元気に成長中です♪



2月15日 オシドリ(♂1)
3月20日 ヤクシマヤギ(♂1)
4月 5日 クサガメ(不明)
4月 8日 アカカワイノシシ(♀1)
4月 8日 モルモット(♂1)
4月11日 ホウシャガメ(♀1)
4月18日 ヨツツビハリネズミ(♂1)

ヤクシマヤギのヤギア
キくんは、あと 2 日で
14 歳の誕生日を迎え
るご長寿でした。当園最
後のヤクシマヤギとし
て頑張ってくれました。



ありがとう、やすらかに…



今回は「栄養」についてのおはなしです。動物園では、お肉を食べるライオン、草を食べるキリンなど、さまざまな食性の動物を飼育しています。野生では自分の力で食べ物を探していますが、動物園で飼育されている動物たちは、飼育員が与えるものしか食べることができません。なので、量はちょうど良いか、栄養は足りているかなど、気をつけながらエサを与えています。

飼育員が食べ物をしっかり与えていても、なんだか様子がおかしいぞ？という時は獣医師の出番です。動物の状態をみて、時には血液などを調べて足りない栄養が何かを考えます。

最近では、「人工哺育になったハリネズミの赤ちゃんの針がうまく生えてこないんです」と相談がありました。犬用のミルクを与えていたので、ハリネズミのだいたいな針の成長を支えている「ビタミンA」が足りていなかったのかもしれません。ビタミンAを食べ物にまぜたところ、立派な針が生えてきました。また、おとなのひとは元気を出す時に、“ファイトー！イッパーツ！”のフレーズでおなじみの栄養ドリンクを飲むことがあるかと思います。その中には「ビタミンB群」が豊富に入っていますが、このビタミンB群は体の中でエネルギーを上手につくる

手助けをしています。ですから元気がなかったり、食欲が落ちたりした動物には、ビタミンB群を与えることがあります。

皮ふがガサガサで、ハゲてしまったノマウマに、「アマニ油」を与えていたこともありました。ウマに油！？と思われたかもしれませんが、意外とウマにも油が必要な場合があるのです。アマニ油には、炎症をおさえる「オメガ3脂肪酸」という成分が豊富なので、皮ふがガサガサだったノマウマも無事に治り、つやつやの毛が生えてきました。オメガ3脂肪酸は、マグロやサバなどのお魚にも多く含まれているので、みなさんもお魚をたくさん食べることが健康のヒケツかもしれませんね。

このように、動物病院ではさまざまなビタミンや栄養素を、症状にあわせて処方しています。もちろん、エサだけで栄養が完璧ならばそれに越したことはないのですが。ちなみに、サル山のニホンザルには担当飼育員の「元々日本に住んでいるサルだから、食べ物で四季を感じてほしい」という思いから、季節の野菜を与えています。春の目玉は何といってもタケノコ！旬の食べ物はおいしいうえに、栄養も満点です。

(獣医師 出野萌子)

ヨソユビハリネズミ



旬のタケノコは栄養満点

Keeper's Note

☆ボンネットモンキー！ケンカの訳？☆

皆さん、ボンネットモンキーというサルを知っていますか？髪型に特徴があり、ボンネットという帽子を被っているように見える姿から名付けられたサルです。モンキータウン内のサル舎ではオス3頭メス3頭が暮らしています。

私がボンネットモンキーの担当になり4年目を迎えましたが、少し前からちょっとした問題が持ち上がっています。問題というのは、今後の群れを計画的に維持していくために、以前より実施していた繁殖制限を解除したところ、繁殖期を迎えたオス同士で激しいケンカが起こってしまいました。これまでも些細なケンカは時々あったのですが、獣医師のお世話になるほどの大きなケンカはありませんでした。そのため、ボンネットモンキーは群れの中に優劣関係はあるものの、穏やかなサルという印象だったのです。

3月のある朝、いつものようにボンネットモンキーの部屋を覗くといたるところに血痕が…。よく見るとオスのボビーの右腕に大きな裂傷があったため、すぐに獣医師へ連絡をとりました。診断は「麻酔をして縫合をしましょう」ということで、ボビーを別室に分け捕獲の準備をします。



ボンネットモンキーのオスの体重は約8kgあり、大きなサルではありませんが腕力は想像以上です。ボビーと私、双方にケガのないように慎重に捕獲しなければなりません、ボビーも必死に部屋の中を

逃げ回ります。ようやく捕獲ができたところで、獣医師が麻酔を注射しました。麻酔が効いたボビーの傷口を見ると、筋肉に達するほどの深手を負っていました。オスの犬歯は写真を見ても分かるように非常に鋭く強力で、場合によっては致命傷になりかねません。

繁殖期を過ぎるとケンカの回数は少なくなりますが、それまでに何かできる対策を考えてみました。ケンカを無くすことは不可能でしょうが、身を隠したり逃げ回ったりすることのできる遊木と寝台を室内に設置しました。上手く活用してほしいと思います。



今回のケンカの要因となった繁殖期は終わりを迎えていますが、その結果は今のところは分かりません。ボンネットモンキーの妊娠期間は約180日間です。秋を迎える頃、群れに新しい仲間が加わることを期待しています。

ボビーのケガの経過はというと、心配していた後遺症もなく、細かいエサや木の枝を掴む時も不便はなさそうです。



最後に今回の主役?となってしまったボビーは口のあたりに赤いアザがあるのが特徴です。モンキータウンで探してみてもどうでしょう。

（連 有吾）



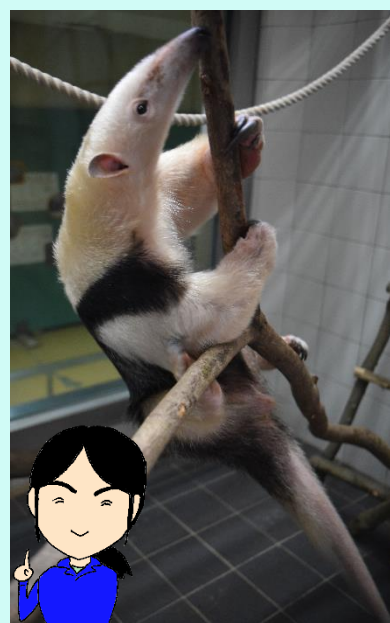
動物園再発見



第34回

ミナミコアリクイ

ミナミコアリクイは南米北部に生息し、シロアリなどを主食としています。半樹上性で長くて丈夫な尾や大きな鉤爪を使って上手に木に登ります。また、鉤爪は捕食の際に蟻塚を壊すだけでなく、強力な武器としても使われます。前肢の指は4本、後肢の指は5本です。一度の出産で一頭生み、子どもはしばらく親の背中に乗って育てられ、約1年で性成熟します。一般的には夜行性ですが、昼間に活動することもあります。



木のぼり
木登りが得意！

ミナミコアリクイ

英名: Southern Tamandua

学名: *Tamandua tetradactyla*

す 住んでいるところ

南米北部



(ブラジル アンデス地方東部の森林・草原)



体重 約3.5kg～8.5kg

体長 約53cm～88cm

たべもの

野生では鋭い爪で蟻塚を壊し、細長い舌を出し入れしてアリを捕まえて食べます。一日に食べるアリの量は数千匹になるといわれています。



動物園で与えているエサ

- ・リンゴバナナ・蒸しイモ・蒸しニンジン・小松菜・きなこ・馬肉・アリ
- ・ペレット(葉食サル用、食虫目用、キャットフード)

これらのエサを食べやすいようにペースト状にして与えます。



歩く時は爪が傷まないように指先を丸めて歩きます。

ほかにも手をじゃんけんのグーの形にして歩くのはチンパンジーやオランウータンなどがいます。



アリクイは後ろ足で立ち上がって威嚇をします。一見かわいく

見えますが、鋭い爪で敵を攻撃することもあります。

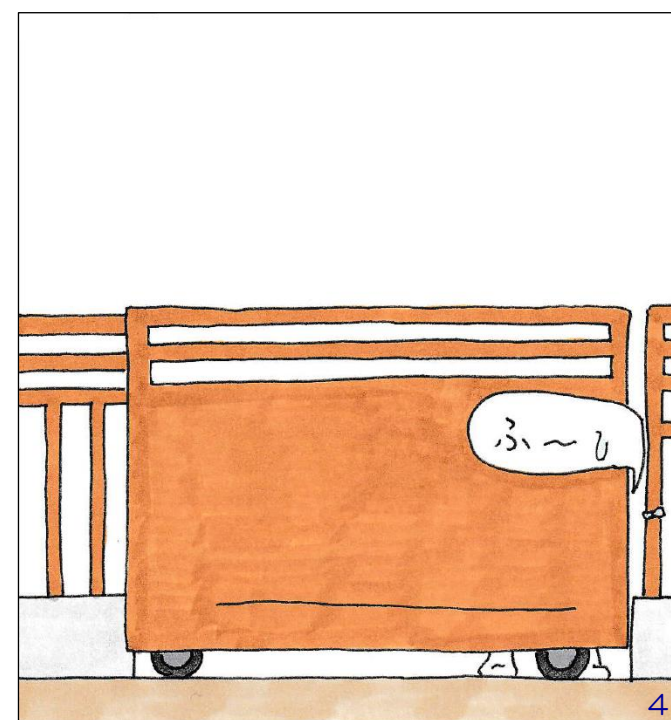


とべ動物園ではアメリカストリートの南米獣舎にてご覧いただけます。



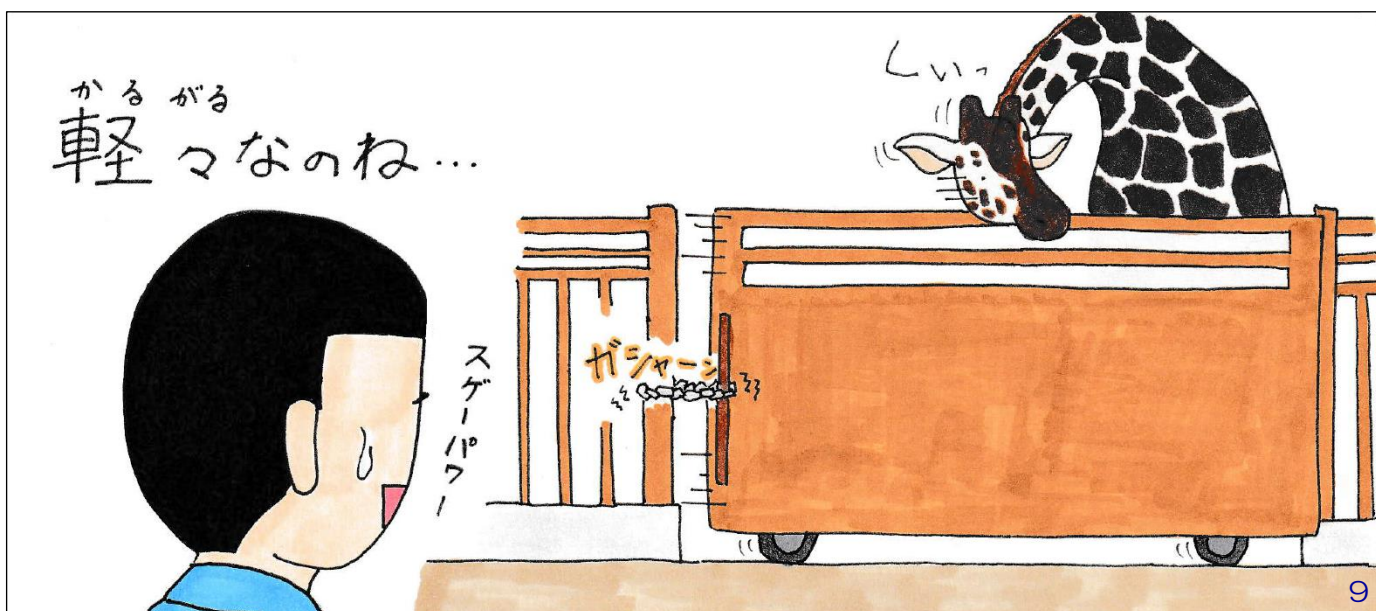
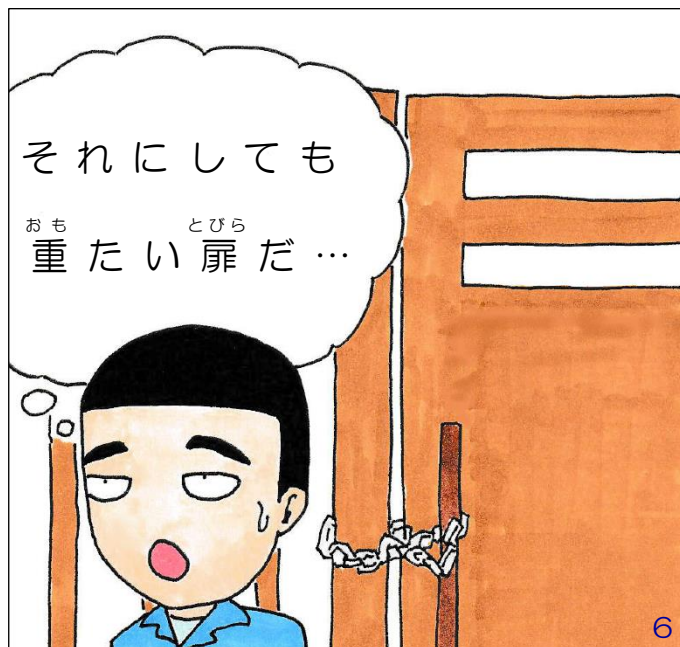
動物園の なにげない一日

～ キリンパワー ～



キリンが出入りするこの扉は幅が約 3m、高さは約 2.5m、重さがおよそ 600kg あります。

雨などによりレールに土砂が入り込んだ時は、倍以上の重さを感じることもあるのです。



いとも簡単に扉を動かしたのはオスのリュウキです。背の高さは5 mを超えていて、日本の動物園にいるキリンの中でもトップクラスの大きさです。

ムササビの人工哺育について

契約職員 西森 明弥



現在、保護鳥獣舎で暮らしているオスのムササビ（*Petaurista leucogenys*）の「ルイ」と「ダノ」は、幼獣の頃に保護され人工哺育で育ちました。私はルイの人工哺育を担当しました。その後、担当動物が変わり保護鳥獣舎を離れましたが、また保護鳥獣舎担当に戻ってきたので、当時の人工哺育の様子や、現在に至るまでの成長記録をご紹介します！



人工哺育をしていた頃の２頭

☆はじめに

とべ動物園では、愛媛県から委託を受け、県内でケガや病気などで衰弱した野生動物（鳥類・哺乳類）の保護を行っています。保護した動物たちは、治療を受けて野生復帰のためのリハビリを行い、復帰が可能になればまた自然の中で生活できるように保護された場所に放します。しかし、残念ながら野生復帰が困難となる個体もいます。保護鳥獣舎は、リハビリ中や復帰不可能な動物たちが暮らしている施設です。

ムササビは、齧歯目リス科に分類され、日本固有種で本州、四国、九州に生息しています。夜行性で、樹洞に巣を作るなど主に樹上で活動しているため、めったに地上には降りてきません。植物食で、種子・果実・木の芽・花・葉などを食べます。繁殖期は年に２回で、一度に１～２頭の仔を出産します。首・前肢・後肢・尾の間に皮膜をもち、木から木へとかなり長い距離を滑空することができます。

☆人工哺育開始

ルイは、2019年8月10日愛媛県大洲市阿蔵で、目も開いていない状態の幼獣の頃に保護されました。獣医師によると保護時は推定で生後５日齢で、体重は56gでした。保護した当初は獣医師が人工哺育を行っていましたが、のちにダノとその兄妹、計３頭のムササビが保護されたため、獣医師一人で３頭は大変！ということと私も人工哺育に挑戦し勉強したいという思いから、9月9日（推定35日齢）よりルイの人工哺育を引き継ぎました。



保護された時のルイ

☆哺乳内容

哺乳には犬用ミルクを使用し、ミルクとお湯を１：２の濃度で行いました。小さい動物には専用の哺乳瓶がないため、針をはずした注射筒を哺乳瓶代わりに使用し、注射筒は成長に合わせてサイズを変更しました。一日の哺乳回数は５～６回で３・４時間おきに行いました。よく飲み、排泄も問題はなかったので、濃度はそのまま継続しました。注射筒を自分で持って飲む姿はとても可愛かったです。勢いよく飲んでくれていると安心でしたが、飲みたがらない時は不安で少々無理やり飲ませることもありました。しかし、幼獣の体に負担をかけることになるため、明らかな体調不良でない限り、飲まない時は待つということも大事だと学びました。飲まない理由としては、ミルクの温度の問題もありました。冷めてぬるくなったミルクは飲まず、再度湯せんで人肌に戻すと飲

み始めました。それでも飲まない時は、飲むまで見守るようにしました。



ミルクは両手で持って飲みます

体調管理のため、毎日体重測定を行いました。大幅に減ることもなくほとんど増加傾向にあり、順調に成長しました。9月20日（推定46日齢）には、獣医師が人工哺育を行っているメスのムササビ「ゆき」（ダノの兄妹）を預かることになり、2頭仲良く過ごすこともありました。



ゆき（左）とルイ（右）

☆離乳に向けて

9月21日（推定47日齢）に、ムササビが好物だというトチの葉を与えてみました。すると、興味をもって少しではありましたがかじりました。翌日からもドングリやリンゴなどの固形物をミルクと一緒に与えてみました。しっかり食べはしないものの、どれもかじっていました。固形物を食べる量が増えてくると、それに伴い徐々にミルクの量を減らしました。授乳の際も、動きたがってミルクを飲む集中力がなくなっていました。

ムササビの離乳は生後約3ヶ月です。まず夜間の授乳をやめ、その後徐々に授乳回数を減らしていき、いよいよひとり立ちの時期を迎えます。その前段階として保護鳥獣舎に木を設置し、木登りの練習なども開始しました。初めは落ちないようにハーネスをつけて行いましたが、やはり樹上で生活する動物なのでとても楽しそうに遊んでいました。日中は獣舎

で過ごし環境にも慣れてきた頃、授乳も一日1回、固形物もよく食べるようになったということで、11月11日～13日（推定98～100日齢）まで、お試しで動物園に置いて帰ることにしました。しかし、私の姿や職員の姿を見るとすぐに駆け寄ってきて不安そうな声で鳴いていました。14日に体重測定を行うと3日間で723gから640gと激減したため、ミルクを再度与え安定するまで動物園の室内で管理することにしました。同時期に離乳を始めたダノと一緒にいると落ち着き、体重も以前と同じくらいにまで増えていたので、17日（推定104日齢）に完全離乳し、2頭で保護鳥獣舎へ移動しました。



リンゴを食べたり



木に登ったり

その後、しばらくは人がいると寄ってきていましたが、保護鳥獣舎で2頭での生活をするようになり、夜行性本来のリズムをとり戻したことで、彼らの成長もあいまって、だんだんと人と野生動物との距離感へと変わっていきました。

☆最後に

今年で3歳になるルイとダノ。オス同士のため、成長するにつれて喧嘩の心配をしていましたが、幼い頃から近くにいたからなのか、今でもとても仲良しの2頭です。昔ほど人に対して甘えん坊ではありませんが、夜の動物園では積極的に姿を見せてくれるムササビとしてお客さまにも人気でした。夜行性のため、日中に姿を見ることは少ないかもしれませんが、これからもルイとダノをぜひ見守ってあげてください。



現在のルイ（上）とダノ（下）

傷病鳥獣の保護について（ツバメ）

担当係長 池澤 紅輔



傷病鳥獣として保護・搬入されたツバメのヒナの放鳥までの取り組みについて紹介します。

☆搬入されたツバメのヒナ



搬入日：2020.7.25
日 齢：推定 10 日齢
名 前：マーちゃん（左）
搬入理由：巣から落ちていたところを保護された。

☆日本でのツバメの生活

ツバメは、愛媛では3月頃に東南アジアなどの越冬地から飛来し、8月頃までに1～3回産卵（子育て）をします。生まれたヒナはおおよそ次の段階を踏んで育っていきます。

- ① 孵化・巣の中で成長
- ② 巣立ち
- ③ 巣の周辺で親からエサを貰いながら、飛び方や虫の捕り方を学ぶ
- ④ 河川敷などに集まり集団で過ごす
- ⑤ 秋、越冬地に渡る

☆より確実な自然復帰のために

今回のヒナは①の段階で保護され、③まで人のもとで育つことになりました。実は、ツバメのヒナを育てるだけならそれほど難しくありません。しかし、自然界に帰した後に自活できるよう、「飛びながら虫を捕らえる」ことを教えるのはなかなか難しいです。そこで次の項目を考慮して育てることにしました。

(1) 名前を覚えさせ、呼び戻しを教える

人が虫を捕らえる手本を見せることはできないので、ヒナが自分で修得しないといけません。最終的には野外で虫を捕らえる訓練になりますが、自分でエサを採れるまでは人がエサを与える必要があります。野外での練習の後ちゃんと戻ってこられるよう、

入当初から呼び戻しの訓練を行いました。マーちゃんと名付けてエサを与えるたびに名前を呼ぶことを続け、名前を呼ばれたらエサをもらえることを教え、名前を呼ばれたら手の甲に戻ってくるよう訓練しました。

(2) なるべく本来のエサを与える

将来、エサと認識できるよう、可能な限りチョウ、ガ、トンボなどの本来のエサを与えました。捕まえる側の都合で、本来はあまりエサにしないであろうバッタやコオロギを与えることが多かったですが、基本的に口に入ったものは何でも飲み込んでくれました。ただ、大きすぎたり、硬すぎたりして消化し難いものはしばらくすると吐き出します。それが続くとその虫を敬遠するようになるため、大きい虫は小さく切ったり、硬い部分をとったりして与えました。多い時期で体長3cmくらいのバッタにして1日40匹は食べるため、虫の確保に苦労しました。

また、虫の確保が難しい時には、市販されているミルワームというエサ用の虫にビタミン剤を添加したのも与えました。

(3) 自分でエサを食べることを覚える

生まれたばかりのヒナは、大きく開いた口や声、羽を小刻みに動かすなど全身を使ってアピールして、親鳥からエサをもらいます。口を開けていたらエサが入ってくると認識しているので、初めは目の前にエサがあっても、自分からは食いつきません。



エサほしいアピール

そこで、エサを見せても口に入れず、焦れて自分から食いつくのを促したり、別の個体がエサをとる様子を見せて学習させたりしました。

(4) 飛びながらエサを食べることを教える

まず、呼び戻しで手の甲に戻ったらすぐエサを与えることを繰り返し練習し、呼び戻して甲にとまる直前に手を引き、宙に浮いた状態でエサを与える方法で飛びながら食べる経験をさせました。数日でできるようになりましたが、空中で静止してエサを食べる形になるため、疲れるのか動きにくいのか、空腹のとき以外はなかなかやってくれませんでした。

(5) 飛ぶための技術・体力をつける

8月5日（推定21日齢）に、自発的に籠の縁からその籠を入れていた段ボールの縁への飛び移りを確認したので巣立ちとしました。その後、呼び戻しの練習時以外にもなるべく体を動かすよう可能な限り室内で自由にさせたり、別のツバメの飛行の様子を見せ、見取り学習をさせたりしました。

室内での飛行訓練の結果、当初10秒程度で息切れしていたものが一週間を過ぎるころには4、5分は飛び続けられるようになりました。



巣立ちました



飛び方学習中

(6) いよいよ野外で訓練

8月18日（推定34日齢）、いよいよ野外で飛ばすことにしました。屋内での呼び戻しはできていましたが、万が一戻ってこなかった場合を考え、ツバメが集まる河川敷で行いました。

放そうとマーちゃんを外に出すと、初めて見る空に驚いたのか上ばかり見ていましたが、5分ほどで落ち着き、飛び立っていきました。時折風に流されながらも、私の周囲100m四方ほどを3分間飛び、その後呼び戻すこともできました。

この日は2時間半ほどかけ、2～3分程度の飛行を8回行い、その間、捕まえるまではいきませんでした。

たがトンボやチョウを追ったり、蜘蛛の巣に興味を示したりしました。

動物園内や自宅付近でも訓練を続けたところ、30分以上の連続飛行もできるようになり、虫を追いかける姿もよく見られ、あとは実際に虫を捕らえるだけとなりました。



空が気になる… 天井がない!?

☆放鳥

捕虫を確認してからと、放鳥をためらっていましたが、近辺のツバメの姿が少なくなってきたため、仲間入りできそうな集団があるうちに放鳥することにしました。8月28日（搬入後34日目、推定44日齢）に、ツバメが多く集まっている山間の開けた場所で放鳥しました。マーちゃんはすぐに他のツバメと追いかけてこをはじめ、群れの中に消えていきました。日暮れまでマーちゃんの帰りを待ち、名前も呼び続けてみましたが、もう帰ってきませんでした。あれから2年が経とうとしています。今もどこかの空を元気に飛んでくれていることを願ってやみません。

☆放鳥までをふりかえって

34日間、朝から晩まで付きっきりで世話をし、マーちゃんは元気に育ちましたが、結局虫を捕らえるところは確認できませんでした。親から与えられる技術・経験とは比較にならないほど少なかったのだと思います。親に育てられること（自然育ヒナといいます）の重要性を改めて感じました。

毎年、鳥のヒナや若い動物が保護され動物園に搬入されてきます。中には親がいるのに保護（誘拐）してしまったと思われるものもあります。もし皆さんが、動物を見つけても、巣から落ちただけかもしれません、親が隠れて見ているかもしれません。すぐに保護するのではなく、まずは動物園や県の関係機関に状況をご相談ください。



このページでは、とべ動物園で
仕事をしている職員を紹介して
います。



★氏名を教えてください。

村上ひなの(むらかみひなの)です。

★出身地並びに出身地でのエピソードなど。

愛媛県大洲市出身です。高校に行く時に内子町に引っ越したので、現在は内子町に実家があります。

★学生時代の思い出を教えてください。

大阪の専門学校で実習や、座学を通して動物たちのことを学んでいました。動物たちのことももちろんいい思い出ですが、学校が終わってから友達とコンビニに行き、アイスを食べながらいろいろな話をする時間がとても楽しかったこともいい思い出です。

★趣味を教えてください。

アニメを見ることです。基本的にどんなジャンルでも見ますが、ジャンプやマガジンなどのアニメが特に好きです。

★なぜ飼育員を志したのですか？

小さい頃から動物が好きで、たくさんの動物たちと関われる仕事がしたいと思ったことがきっかけです。

★就職が決まった時の感想は？

とべ動物園で飼育員として働くことが私の夢だったので、とてもうれしい気持ちと共に、ずっと応援

してくれていた家族全員に早く伝えたいという思いでいっぱいでした。

★現在担当のお仕事は？

こども動物センターにいるヨツユビハリネズミや、キボウシインコ、ポニー舎にいるポニーや、ミミナガヤギなどです。

★動物園の中で好きな動物は何ですか？

理由も教えてください。

どの動物も好きですが、最近はヒキガエルがお気に入りです。鳴き声が、カエルとは思えないくらいかわいらしいところと、エサを食べるのがあまり上手ではないところに惹かれています。

★その他とべ動物園でのおすすめポイント(動物)などがあれば教えてください。

こども動物センターにいるキボウシインコの「メント」です。人がいるとかまってほしくて「アハハハハ」と笑ってくれます。

★これまで経験してみて、仕事で楽しかったことはありますか？

ハリネズミたちの爪切りができたことです。触るとすぐに警戒して丸くなっていましたが、時間をかけて待っていると、少しずつ切らせてくれました。

★今後やってみたいことはありますか？

標本や、展示物作成です。

★座右の銘を教えてください。

「諦めない心」です。

★最後に意気込みをひとこと

私は、周りの方たちに甘えてばかりで、社会人としても、飼育員としてもまだまだ未熟者ですが、元氣と笑顔を忘れず、これからも精一杯頑張ります。

読者投稿用紙

料金受取人払郵便

松山南局承認

81

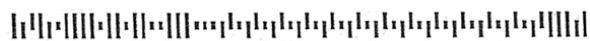
差出有効期間
2023 年 3 月
15 日まで

〒791-1190

伊予郡砥部町上原町 240

愛媛県立とべ動物園

愛媛動物友の会編集部 行



のりづけ②

のりづけ①

のり

づけ

③

きりとりせん



読者投稿用紙

(イラストや写真も同封できます)



読者の皆様の原稿をドシドシお寄せください。



Vol.34-1 号でよかった記事、
つまらなかった記事は？



今後希望する記事・内容は？



どうぶつなぞなぞクイズの答え
(正解者のお名前は
Vol.34-2 号でご紹介します)

答え〇〇〇

(クイズの問題は P 2 3 参照)



例会でよかった点、つまらなかった点は？



例会で今後希望する企画は？

お名前

住所

会員番号

電話番号

★友の会 家族・個人

★サポーター

No. _____

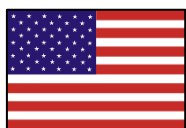
会員の方は会員種別に○をし、会員番号をご記入ください。



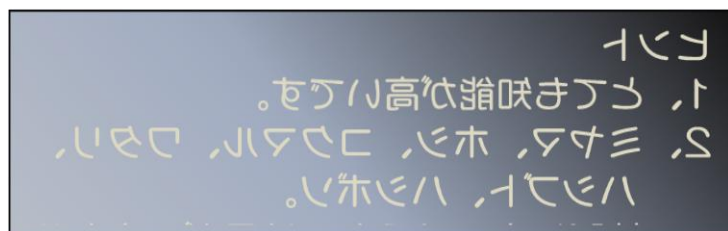
どうぶつなぞなぞクイズ

☆問題です！

アメリカに行くと苦労する動物がいます。
さてこの動物な〜んだ？



答え〇〇〇



☆前回の問題

タイムラプスやストップモーション
ムービーを撮影するのが得意な動物
がいます。さてこの動物な〜んだ？



ヒント

1. 鳴き声が馬のいななきに似ていることから名前が付いています。
 2. 愛媛県の県の鳥です。
 3. ウグイス、オオルリと共に日本三大鳴鳥の一つです。
- タイムラプスやストップモーションの撮影方法を
コマ撮り方法といいます。コマ撮り→コマドリでした。

答えはコマドリでした！

Vol.33-4 クイズ正解者

- ★会員番号 No. 11 矢野 敬子さん
- ★会員番号 No. 21 音地 秀起さん
- ★会員番号 No. 50 森 幸子さん
- ★会員番号 No. 52 田中 早苗さん
- ★会員番号 No. 76 渡邊 祥子さん
- ★会員番号 No.137 林 信子さん
- ★会員番号 No. 2(家) 大谷 幸子さん
- ★会員番号 No.37(家) 齋藤 希望さん
愛さん
夢さん

- ★サポーターNo. 25 三池 京子さん
- ★サポーターNo. 67 山崎 亜紀さん
- ★サポーターNo. 86 奥村 佐智子さん
- ★サポーターNo. 96 中野 桂子さん
- ★サポーターNo.113 武田 明貴子さん

正解の方々にはオリジナルポストカードセットをお送りします。

応募要項

読者投稿用紙のクイズ解答欄に答えを記入して郵送するか、メールでお便り下さい。締め切りは 7 月 10 日までにご応募ください。

開園案内

- 開園時間 — AM9:00~PM5:00
入園午後 4:30 まで
- 休 園 日 — 毎週月曜日
(祝日の場合は翌平日)
年末年始
(12月29日~翌年1月1日)
- 入 園 料 — 大人(18歳以上)500円
高校生(15~17歳)200円
小中学生(6~14歳)100円
(30名以上の団体2割引)
- ホームページ — <https://www.tobezoo.com/>
- メールアドレス — tomonokai@tobezoo.com

とべZOO Vol-34 No.1 号

令和4年発行 定価 200 円(消費税込)
編集・発行人/公益財団法人愛媛県動物園協会
〒791-2191
愛媛県伊予郡砥部町上原町 240
印 刷/公益財団法人愛媛県動物園協会
編集委員長/前田 洋一
編集副委員長/宮内 敬介
編集委員/山本 祥菜・池田 敬明・宮越 聡
平澤 萌・吉武 ちとせ・西森 明弥・村上ひなの
森貞 恭治・白湯 綾・池田 智亮



アメリカバク



愛媛県立とべ動物園

〒791-2191 愛媛県伊予郡砥部町上原町240

TEL089-962-6000

動物取扱業に関する表示

申請者の氏名：公益財団法人 愛媛県動物園協会

事業所の住所：愛媛県伊予郡砥部町上原町240

登録番号：動愛第441号（展示）、動愛第994号（販売）
動愛第995号（保管）、動愛第996号（貸出し）

登録年月日：平成19年5月31日（展示）

平成29年5月31日（販売、保管、貸出し）

事業所の名前：愛媛県立とべ動物園

動物取扱業の種別：展示、販売、保管、貸出し

動物取扱責任者の氏名：椎名 修

登録の有効期間の末日：令和9年5月30日

定価 二〇〇円（税込）